

イネ科通信 29

冬季にも枯れないイネ科植物
ダンチク・セイタカヨシ・トキワススキ

2013/12/10

「草」とは冬季に地上部が枯れる植物という定義があるようですが、ダンチク、セイタカヨシ（セイコノヨシ）やトキワススキは一年中枯れることなく冬も青々としています。これらは多年草です。



右上の写真についての説明：ダンチクやセイタカヨシは稈（茎）に何らかの力（風など）が働いて倒れると新芽が出やすくなるようです。トキワススキについてはまだ観察していないのでわかりません。

ダンチクはどのような植物？ インターネット調べたものを紹介します。

花は毎年咲きますが、栄養生殖（地下茎が伸びる）のみで増えます。また、花粉は出ないので花粉症とは関係ありません。砂地から泥まであらゆる土壤に適応し、特にヒ素、カドミウム、鉛の豊富な土地でよく育つそうです。これらの有害金属を植物体内で濃縮するため、土壤の浄化に使える可能性が充分あります。

極めて生長が旺盛で、C3 植物なのに C4 植物と同じぐらいの光合成能力を持っています。そのため、炭素固定やバイオマス、バイオ燃料として有望な植物としての研究対象になります。

上記のように有用性があるのににもかかわらず、世界の侵略的外来種ワースト 100 に入れています。それは世界の亜熱帯や温帯で川岸や湿地に広がり一旦侵入してしまうと、固有種にとって代わるという実態があり、また火事や洪水を引き起こす危険を生じるからです。

(注)バイオマスとは一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」をバイオマスと呼びます。